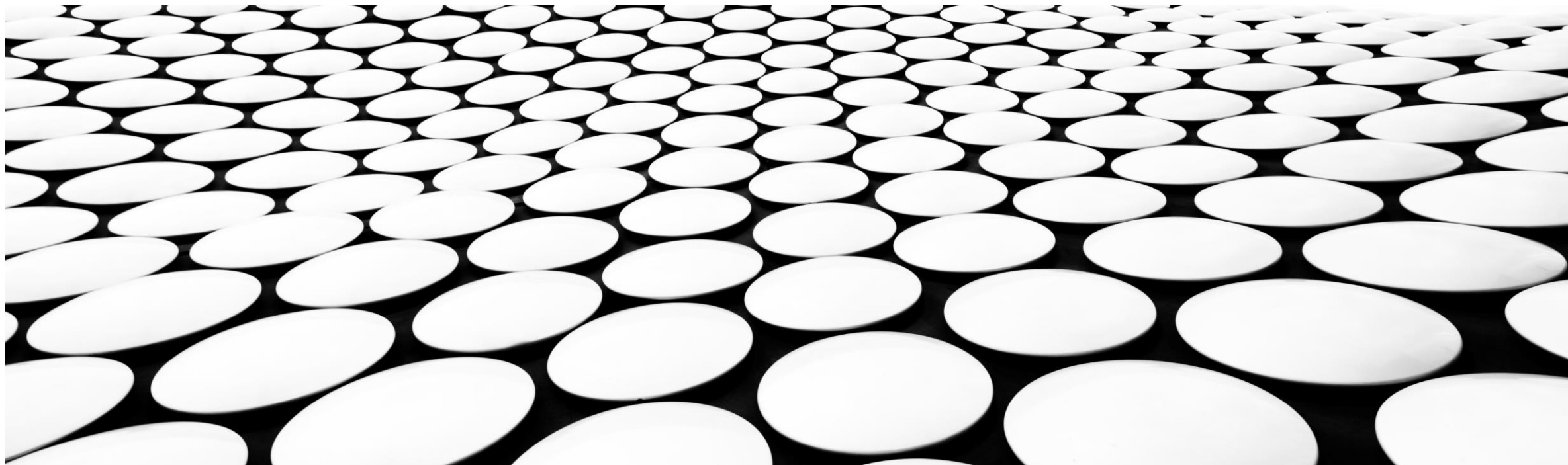

デジタル講座

「LINE」のビジネス活用編



概要

企業研修などを通じて、必ず出て来る課題「コミュニケーション」に関する内容

ある時は非常に重要である日本人独特の「空気を察する」「相手を慮る（おもんばかり）」しかし、ビジネス現場などで端的に伝えると言う場面ではこの独特の慣習がマイナスになる部分が多い

本人は伝えたつもりでも、受ける人によって解釈が様々で「言った、言わない、聞いてない」これが組織が大きくなればなるほど問題が膨れ上がりその結果、課題は「コミュニケーション」に行き着きます。
今回は最適なツール「Lineワークス」の紹介です。

➤ Lineワークスとは

「LINE WORKS（ラインワークス）」は、メッセージングアプリ「LINE」を運営するLINE株式会社が提供するビジネス向けコミュニケーションツールです。

ビジネスチャット、タスク管理、スケジュール管理、ファイル共有などの機能があり、企業内のコミュニケーションや業務の効率化に役立てられます。また、LINEアカウントとの連携も可能で、個人とビジネスの使い分けが簡単にできるようになっています。

概要

「Line」今更Lineかよ…と言うツッコミもあろうかと思いますが。
まだまだLineはプライベートでお仕事には……………そんなすり込み意識が多いのが現状です。

なぜLineがコミュニケーションツールとして優れているか？これは、短文コミュニケーションと言う「チャット」のおかげです。口頭の会話やメール文を思い出してください。挨拶から始めて、本題に入る前の序章から本文説明「相手に伝わる様に丁寧に」これが意外に面倒で、メール打つのも面倒、なので電話や口頭で伝える。こんなケースが多くないですか？

実は伝える「コミュニケーションの中には」面倒とか空気で察して「ニュアンスで」こんな事も含まれます。文書の基本5W1Hでまとめるのが苦手なそれを口頭で伝えるのも苦手

伝えた後の確認作業（相互報告）も苦手…

これが、特に日本人独特のコミュニケーション法が、ビジネス上でのコミュニケーションの障害になって来ております。

➤ Lineワークスの基本機能

- ・チャット
- ・ファイル共有
- ・タイムライン
- ・ボイスコール
- ・タスク管理
- ・ビデオ通話
- ・スケジュール管理

➤ Lineワークスをおススメする理由

- ・ Lineの中の短い文章で多くが伝わりませんか？
- ・ スタンプなども併用して、気持ちも代弁していませんか？

普段使い慣れているので、使用ハードルが低くなり教育コストが不要です。

➤ Lineのネガティブイメージ

「Lineはプライベートで仕事では使えない」

「セキュリティ的に心配だ」

「元々の親会社がK国なので情報漏洩が心配」

まだこんな事で悶々として、導入を躊躇している企業も多い様です。

➤ まとめ

Lineは余計な会話は排除して端的に伝える最高の手段になります。

詳細内容（報告書）などは文章やメールが便利ですが最低限を伝えて理解していただき、フィードバックを得るここだけに特化した場合「チャット」に敵う相手はいません。

既に行政主導のシステム（ワクチン接種アプリ）等にも使われております。